

press release

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

2018年2月13日
PRESS-18-04

ノボ ノルディスク ファーマ、 郡山市(福島県)と「糖尿病対策に関する包括連携協定」を締結 地域における糖尿病の課題解決に向けた初の取り組み

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社(社長:オーレ ムルスコウ ベック、本社:東京都千代田区)は、福島県郡山市と「糖尿病対策に関する包括連携協定」を本年2月13日に締結したことをお知らせします。本協定は、郡山市による「郡山市を日本一健康な都市にする」という理念にノボ ノルディスク ファーマ株式会社も賛同し、両者の資源を有効活用し、連携して糖尿病の対策に取り組むものです。

平成28年国民健康・栄養調査において、「糖尿病が強く疑われる者」は過去最多の約1千万人と推計されており、糖尿病高齢者の増加が顕著です。郡山市においても、糖尿病有病者数やその割合、人工透析患者における糖尿病の罹患割合が年々増加しています。このため郡山市においては、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発、特定健診及び特定保健指導の普及啓発や健診後の受診勧奨を行うことにより、糖尿病の予防及び早期発見・早期治療、重症化予防につなげるのが重要課題となっています。

郡山市には、ノボ ノルディスク ファーマの国内唯一の生産拠点があります。本協定は、ノボ ノルディスク ファーマがこれまで糖尿病ケアの革新をリードする製薬企業として培ってきた経験と知識を活かし、郡山市の課題解決のための具体的なソリューションの一部になることを目指した初の取り組みです。

協定締結を終え、医師でもあるオーレ ムルスコウ ベック社長は次のように述べています。「糖尿病は、発症すると生命にかかわる心筋梗塞や脳卒中などの心血管疾患のリスク因子でもあり、また治療が十分に行われなければ失明や、腎不全で人工透析等の合併症を併発するリスクがあります。糖尿病有病者数の増加や合併症の増加は、最終的には社会における負担と社会保障費を圧迫することにつながります。ノボ ノルディスクは、郡山市が抱える課題と一緒に立ち向かい、郡山市と郡山市民に貢献していきます」

また、郡山市の品川萬里市長は、「郡山市では、市民の健康づくりのため、糖尿病の予防及び早期発見・早期治療、重症化予防に向けた取り組みを行っております。今回、ノボ ノルディスクファーマ株式会社との包括連携協定を契機に、日本一健康な都市を目指して、糖尿病対策のさらなる推進に向けた取り組みを進めてまいります」と話し、今後の連携プロジェクトに期待を示しました。

現在、「糖尿病対策に関する包括連携協定」の具体的な内容については、郡山市とノボ ノルディスク ファーマの合同プロジェクトチームで検討しています。



郡山市について

概要:

郡山市の人口構成は、40歳未満の世代が45.6%を占め、国や県と比較すると高く、働き盛りの世代人口が多いのが特徴。産業構成も第三次産業(サービス業など)が高い割合を占める。現在の郡山市の高齢化率は20.4%と国や県と比較すると低い状況にあるが、これから働き盛りの世代が徐々に退職し国民健康保険に移行してくることを考慮すると今後さらなる医療費の増大が予想されるため、生活習慣の見直しなどにより生活習慣病の発症予防に努める必要がある。

医療:

医療において郡山市は、県内最大の病床数を持つ総合病院などの高度医療機関、日常的な診察や健康管理を行う「かかりつけ医」の役割を担うクリニックなどが多数集約しており、医療に恵まれた環境にあり、人口千人当たりの病床数は県・同規模自治体・国と比較して高いものの、外来患者数・入院患者数・受診率については病床数とは逆に低くなっている。一方、入院の1件当たりの医療費点数は県や国と比較して高い傾向にある。これは、病状が悪化してからの受診や入院、医療の高度化が考えられ、早期発見・早期治療による重症化の防止に取り組む必要がある。

介護:

郡山市の介護認定率については、第1号認定率(65歳以上)が18.8%(約5人に1人以下)と国や県と比較しても低い状況にあるものの、要介護認定者有病率を疾病ごとに見てみるとその多くが生活習慣病を有しており、高血圧症、心臓病においては過半数を超えている。要介護認定者の生活習慣病の改善により重症化を予防するとともに、介護を受けていない方の生活習慣の改善が介護予防にもつながるため、若い世代への働きかけも必要である。

死因

死因の状況については、がんが死因の多くを占めており、次いで、予防が可能といわれている心疾患や脳血管疾患等の循環器疾患となっている。特に虚血性心疾患については発症すると命に関わる事が多く、福島県は代表的な急性心筋梗塞により死亡する割合が全国1位(H22年都道府県年齢調整死亡率より)となっていることから、早急な対策が求められる。糖尿病は低いが、TOP3のがん、心臓病、脳疾患はすべて糖尿病がリスクファクターとなっている。

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社について

ノボ ノルディスク社は、デンマークに本社を置き、95年以上にわたり糖尿病治療に必要な革新的な医薬品の開発を通じ糖尿病ケアの革新をリードしてきました。糖尿病の克服を目指して培ってきた経験や能力は、成長障害や血友病、肥満といったその他の重篤な慢性疾患の領域にも活かされています。ノボ ノルディスク社は現在79カ国に約4万2,100人

お問い合わせ先

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

100-0005
東京都千代田区丸の内 2-1-1
明治安田生命ビル

Tel: 03-6266-1700
Fax: 03-6266-1801

ウェブサイト:
www.novonordisk.co.jp
www.novonordisk.com



の社員を擁し、製品は 170 カ国以上で販売されています。また、ノボ ノルディスクは、医薬品の研究開発や提供だけでは解決できない糖尿病の課題にも取り組んでおります。

日本法人であるノボ ノルディスク ファーマ株式会社は 1980 年に設立されました。国内唯一の生産拠点である郡山工場は 1998 年に操業を開始し、今年 20 周年を迎えます。2018 年 2 月 1 日現在、100 名を越す従業員が勤務しています。

お問い合わせ先
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

100-0005
東京都千代田区丸の内 2-1-1
明治安田生命ビル

Tel: 03-6266-1700
Fax: 03-6266-1801

ウェブサイト:
www.novonordisk.co.jp
www.novonordisk.com